

教育研究データ

1. 氏名	田村 進		
2. 生年月	1969年8月		
3. 取得学位	修士(教育学)		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫	2009年4月	① 授業終了時に記入させる小レポートから得られる質問等について、次の授業の最初に時間を取って解説している。	
	2010年4月	② オフィスアワーにおいて授業等の質問を受け付けている。	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等			
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の年月	発行所
①保健体育科・スポーツ教育重要用語300の基礎知識	共著	1999年8月	明治図書
②心理学への扉—心の専門家へのファーストステップ—	共著	2006年5月	北大路書房
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の年月	掲載紙および巻/号, 頁
①学生の生活習慣と精神的健康の関係—大学入学前後にわたる縦断的研究—	共著	2001年3月	『発育発達研究』第28号, 13-22
②スキルレベルの異なるプレイヤーから成るチームに対する認知的トレーニングの効果	共著	2000年12月	『広島文教教育』第15号, 49-56
③体育の授業内容が学習者の運動量・楽しさ・笑顔に及ぼす影響	共著	2003年3月	『広島文教教育』第17巻, 13-21
④高校バスケットボールプレイヤーのパスミス発生原因の認知に関する研究—覚醒水準と情報処理過程に焦点を当てて—	共著	2004年3月	『広島体育学研究』第30号, 19-28
⑤運動指導におけるオノマトペの効果	共著	2007年3月	『広島文教教育』第21号, 1-9

に関する研究—跳び箱運動の開脚跳びの場合—		
(3) 研究・作品発表	発表の年月	発表学会等
①認知的スキルの学習が状況判断能力の習得に及ぼす影響—バスケットボールの場合—	2008年11月	中国四国教育学会第60回大会
②対応事態の段階的学習がテニススキルの修得に及ぼす効果について	2009年11月	中国四国教育学会第61回大会
(4) 所属学会		
①日本体育学会		
②日本スポーツ心理学会		